

## 環境科学・環境工学分科会（第26期・第2回・議事要旨）

■日時：令和6年5月29日（水）10:00～12:00

■会場：日本学術会議会議室6-A(1)及びオンライン（ハイブリッド開催）

■出席者：（敬称略）

北川（オンライン）、森口（オンライン）、浅見、岡部（オンライン）、小崎（オンライン）、後藤（オンライン）、恒川、所（オンライン）、野田（オンライン）、藤岡沙都子、山本（オンライン）、吉田（オンライン）、藤岡恵子（オンライン）

■欠席者：（敬称略）

阿尻、大河内、辻、平尾、宮崎、安田

■配布資料：

資料1 第1回分科会議事要旨

参考資料1 第1回分科会議事メモ

■議題：

### （1）前回議事要旨の確認について

委員長より、資料1について説明があり、これを承認した。

### （2）公開シンポジウムについて

森口委員より、昨日（令和6年5月28日）開催された公開シンポジウム「第36回環境工学連合講演会」について、今回は「持続可能で強靱な社会への変革に向けて」を総合テーマとして行われたこと、COVID-19により、第33回の2021年への延期（オンライン開催）を経て、第34回、第35回に続き3度目のハイブリッド開催であったこと、30～40名の会場参加者、常時200～270名程度のオンライン接続があったこと、早稲田大学松方教授の特別講演と4セッション計14件の招待講演および環境「工学」を中心とする、学際性に富む講演者があったことなどが報告された。

### （3）活動紹介について

### （4）今期の活動について

（3）と（4）についてはまとめて議論された。今期の活動方針について定期的な勉強会の開催が提案され、3つのテーマ（環境教育、都市と自然、技術と社会）を軸に、毎月テーマを変えながら勉強会を行うことになった。勉強会では、2名の話題提供者による発表と全体討論を行う。

勉強会については、6月は教育をテーマに佐々木委員と野田委員、7月は都市と自然を

テーマに山本委員と吉田委員、8月は技術と社会をテーマに岡部委員と所委員に話題提供を依頼することになった。各回の参加者が簡単な議事録を作成することになった。日程調整は幹事が行うこととし、6月は藤岡沙都子委員が、7月は恒川委員が担当する。

(5) その他

- ・とくになし。

以上